



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 株式会社 ニフコ

上場取引所 東

コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）柴尾 雅春

問合せ先責任者 （役職名）財務・経理部長 （氏名）浜田 博 TEL 03-5476-4853

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	85,541	△0.7	12,999	9.3	12,593	△11.0	9,831	11.2
2025年3月期第1四半期	86,139	△2.1	11,889	17.2	14,145	5.5	8,842	△9.1

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 1,655百万円（△89.6％） 2025年3月期第1四半期 15,975百万円（42.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	103.28	—
2025年3月期第1四半期	89.97	88.87

（注）2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	356,209	275,095	76.5	2,860.77
2025年3月期	379,816	278,725	72.4	2,888.37

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 272,340百万円 2025年3月期 274,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	348,000	△1.4	49,500	0.6	49,500	△5.1	30,600	△31.6	315.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	100,257,053株	2025年3月期	100,257,053株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	5,058,904株	2025年3月期	5,058,850株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	95,198,165株	2025年3月期1Q	98,284,209株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(追加情報)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、建設や物流などの堅調な受注に大企業の景況感が支えられ、景気全体として緩やかに回復しております。輸出面では、アジア向け輸出が底堅く推移する一方、米国向けは関税発動前の駆け込みが一巡し先行きは減少傾向にあります。海外に目を転じますと、中国経済では政府の経済対策効果によって自動車をはじめとする耐久消費財の買い替えが進み、国内需要の持ち直しが見られました。輸出は米国関税引き上げ前の駆け込み需要により対米国輸出を中心に増加しました。欧州経済については、米国の関税賦課を見越した先食い需要で、製造業の景況感が回復した一方、英国では製造業が低迷し景気は足踏み状態です。米国経済においては、関税引き上げ前の駆け込み需要で輸入が急増した反面、一部製品の国内生産が減少したことでGDPは3年ぶりのマイナス成長となりました。また、関税発動前の動きとしてソフトウェアを含む知的財産投資の伸びが拡大しました。このように世界経済は底堅く推移し持ち直しているものの、トランプ関税税率引き上げ懸念を起点とした貿易の停滞及び金融市場の混乱不安、経済成長率の鈍化、インフレリスクなど、不確実な要素が大きく依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であります自動車メーカーにつきましては、日本市場では当第1四半期連結累計期間において、対前年同期比で生産台数がやや下回ったものの、販売台数は上回る結果となりました。海外におきましては、当第1四半期連結累計期間の対前年同期比で、米国市場及び欧州市場は生産台数、販売台数ともに下回った一方、中国市場及びインド市場では生産台数、販売台数ともに上回りました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.7%減の855億4千1百万円となりました。

利益面では、管理可能経費削減の取り組みなどにより、営業利益は前年同期比9.3%増の129億9千9百万円となりました。経常利益は主に円高が進み為替差損が発生したことなどにより、前年同期比11.0%減の125億9千3百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の寄与もあり、前年同期比11.2%増の98億3千1百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては、自動車の生産活動も持ち直しはじめ、増収となりました。

海外におきましては、米国関税引き上げ前の駆け込み需要などが世界的に発生し、米国や中国では増収となりました。一方で、欧州においては、同様に関税発動前需要の影響下ありましたが、英国では製造業が低迷しており、減収となりました。結果として、合成樹脂成形品事業全体としては、減収となりました。利益面においては、管理可能経費削減の取り組みなどにより販売費及び一般管理費が抑制され、増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比0.4%減の767億4千8百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比8.3%増の130億3千2百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においてはホテル向け需要が高まるものの、販売店向けが苦戦し、海外においては中国が2024年の8月に中央政府が打ち出した消費促進策が継続されたことにより、卸・小売が好調に推移するも、香港が昨年度の廃棄物有料化対応によるホテル特需の反動が大きくホテル向けが大幅に減少し、減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比3.0%減の87億9千2百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比6.5%減の13億6千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ236億6百万円減少して、3,562億9百万円となりました。主な減少要因としては、現金及び預金が193億9千3百万円、土地が15億6百万円それぞれ減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ199億7千6百万円減少して、811億1千3百万円となりました。主な減少要因としては、1年内償還予定の社債が100億円、賞与引当金が20億5千8百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。また、支払手形及び買掛金が47億2百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ36億2千9百万円減少して、2,750億9千5百万円となりました。利益剰余金が56億4千5百万円増加したものの、円高により為替換算調整勘定が83億7千2百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	146,232	126,839
受取手形	1,129	1,290
電子記録債権	6,807	6,515
売掛金	52,214	51,818
契約資産	477	463
有価証券	1,349	1,988
商品及び製品	26,204	26,296
仕掛品	2,983	2,986
原材料及び貯蔵品	10,039	9,471
その他	12,405	11,144
貸倒引当金	△279	△246
流動資産合計	259,565	238,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,169	45,169
機械装置及び運搬具（純額）	18,128	18,064
工具、器具及び備品（純額）	3,860	3,884
金型（純額）	4,468	4,036
土地	20,808	19,302
リース資産（純額）	38	32
建設仮勘定	11,766	11,014
その他	3,445	3,417
有形固定資産合計	107,685	104,921
無形固定資産	2,194	2,148
投資その他の資産		
投資有価証券	684	666
繰延税金資産	3,332	3,462
退職給付に係る資産	3,470	3,490
その他	2,883	2,951
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,370	10,570
固定資産合計	120,250	117,640
資産合計	379,816	356,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,284	21,581
1年内償還予定の社債	10,000	—
短期借入金	199	—
1年内返済予定の長期借入金	60	60
未払金	6,053	6,038
未払法人税等	3,439	3,263
契約負債	5,035	4,568
賞与引当金	3,531	1,473
その他	12,620	10,895
流動負債合計	67,223	47,881
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	225	210
繰延税金負債	3,669	3,244
退職給付に係る負債	1,760	1,772
その他	3,211	3,005
固定負債合計	33,867	33,232
負債合計	101,090	81,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	—	—
利益剰余金	253,466	259,111
自己株式	△18,588	△18,588
株主資本合計	242,168	247,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	7
繰延ヘッジ損益	△7	△4
為替換算調整勘定	32,886	24,513
退職給付に係る調整累計額	△85	10
その他の包括利益累計額合計	32,799	24,526
非支配株主持分	3,757	2,755
純資産合計	278,725	275,095
負債純資産合計	379,816	356,209

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	86,139	85,541
売上原価	60,272	58,290
売上総利益	25,867	27,251
販売費及び一般管理費	13,978	14,252
営業利益	11,889	12,999
営業外収益		
受取利息	326	293
投資有価証券評価益	33	—
為替差益	1,701	—
その他	309	221
営業外収益合計	2,371	515
営業外費用		
支払利息	67	72
為替差損	—	714
その他	47	134
営業外費用合計	114	921
経常利益	14,145	12,593
特別利益		
固定資産売却益	3	1,143
特別利益合計	3	1,143
特別損失		
固定資産除売却損	13	56
特別損失合計	13	56
税金等調整前四半期純利益	14,136	13,680
法人税等	5,057	3,576
四半期純利益	9,078	10,103
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,842	9,831
非支配株主に帰属する四半期純利益	235	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△338	1
繰延ヘッジ損益	5	2
為替換算調整勘定	7,194	△8,548
退職給付に係る調整額	35	96
その他の包括利益合計	6,896	△8,448
四半期包括利益	15,975	1,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,636	1,559
非支配株主に係る四半期包括利益	338	95

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2025年5月19日開催の取締役会において、当社の中長期的な株主価値に対する従業員のモチベーション向上を企図して、当社の発行する普通株式を、ニフコ従業員持株会の会員に対し、特別奨励金として付与するインセンティブ・プランの導入を決定いたしました。当社は、2025年7月25日、ニフコ従業員持株会を処分先とする第三者割当による自己株式の処分を行いました。

自己株式の処分の概要

(1) 処分の期日	2025年7月25日
(2) 処分株式の種類	当社普通株式
(3) 処分株式の数	98,250株
(4) 処分価額	1株につき3,419円
(5) 処分総額	335,916,750円
(6) 処分の方法	第三者割当
(7) 処分先	ニフコ従業員持株会

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

1 偶発債務

公正取引委員会の立入調査

当社の韓国の連結子会社は、2023年7月5日（現地時間）に合成樹脂成形品の取引に関して独占規制及び公正取引に関する法律違反の疑いがあるとの理由で、韓国公正取引委員会の立入調査を受けました。

現時点では調査継続中ですが、この結果により、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	3,226百万円	3,130百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	77,072	9,067	86,139	—	86,139
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	77,072	9,067	86,139	—	86,139
セグメント利益又は損失(△)	12,028	1,455	13,484	△1,595	11,889

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,595百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	76,748	8,792	85,541	—	85,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	76,748	8,792	85,541	—	85,541
セグメント利益又は損失(△)	13,032	1,360	14,393	△1,394	12,999

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,394百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。